

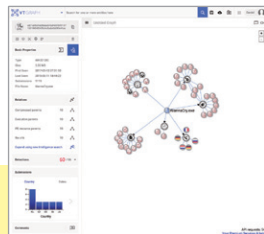


自社の情報やWEBサービスを脅威から守るための「ネットワークセキュリティ・ソフトウェア」をご紹介します



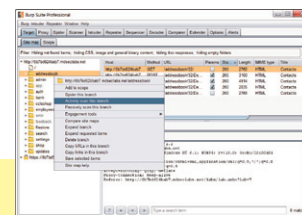
VirusTotal Enterprise

マルウェアサンプルダウンロード等セキュリティ対策情報収集・解析ツール (セキュリティベンダー向け)



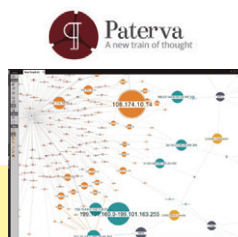
Burp Suite

WEBアプリケーションのセキュリティテスト実施のための脆弱性スキャナ



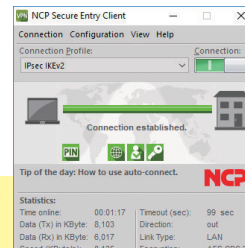
Maltego

セキュリティ上の脅威を排除するためのフォレンジック調査・分析ツール (オープン・ソース・インテリジェンスツール)



NCP Secure Entry Client

マルチプラットフォーム対応 小規模向けVPNクライアント (Virtual Private Network)



それぞれ、ユニポスで多数の取り扱い実績のある定番ソフトウェアです。ご検討の際にはお気軽にお問い合わせください

UNIPOS 今月のユニポスおすすめ商品

Looking Glass



人気製品!

3Dホログラムを表示可能なデスクトップディスプレイ

厚みのあるガラスの中に3Dホログラムを表示することができる、デスクトップ型ホログラフィックディスプレイ。VRやAR等のヘッドセットを必要とせずに3Dデータを確認・表示することが可能で、また複数人で同時に同じ3Dを確認することも特長です。

8.9インチと15.6インチのDevelopment Kit、および15.6インチのタッチディスプレイタイプProの、3モデルが用意されています。



技適マークのない無線機器でも総務省へ届け出ることによって180日間使用できるようになりました

概要

改正電波法にともない 2019年11月20日にスタートした「技適未取得機器を用いた実験等の特例制度」により、無線機能が搭載された技適のないデバイスについて、事前に総務省へ届け出をすることで、実験などを目的とし最長180日間の使用が認められることになりました。

制度の利用には以下のような条件があります

- 使用するデバイスにFCCやCEなどの電波に関する外国の認証があるか
- 無線の規格や周波数帯などが規定の範囲内か (5.8Ghz帯のWi-Fiなどは対象外)
- 用途は180日以内の短期間の実験・試験・調査のための使用であるか



詳細は、総務省 電波利用ホームページをご覧ください

HOME > その他 > その他の制度
技適未取得機器を用いた実験等の特例制度
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/others/exp-sp/>

ピックアップ 新着情報



高解像度 LiDARデブスカメラ「Intel RealSense LiDAR Camera L515」を追加しました 2019.12.12 新着情報追加

Intel RealSense 最新シリーズ L515



Intel社の大人気 RealSenseファミリーに、ソリッドステート式LiDARによる深度測定技術を搭載した最新シリーズ Intel RealSense LiDAR Camera L515 が加わりました。Intel社独自のMEMSミラースキャン技術を搭載し、小型・軽量、低消費電力・高出力効率が高特徴、最短0.25mから最長9mの範囲の深度データを、最大XGA(1024×768) / 30 fps の高い深度解像度で取得可能です。

2020年4月末ごろメーカー出荷予定。ユニポスでご予約受付中です!

テガラ株式会社

研究開発を加速するお手伝い

<https://www.tegara.com>



【本社】 〒435-0045
 【山形支店】 〒990-0041

静岡県浜松市中区細島町8-3
 山形県山形市緑町4-14-36

TEL:053-468-2655 / FAX:053-466-3368
 TEL:023-627-7861 / FAX:023-627-7873